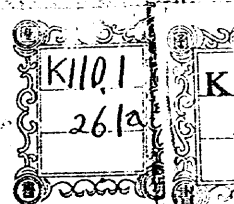


小學
中等科

修身格言

林昇校閱
今井匡之纂輯

五



K110.1

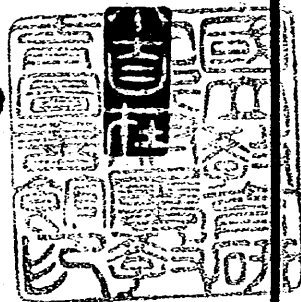
261a

學齋林昇校閱
鳳岡今井匡之纂輯
第五卷

小學修身格言 中等科

明治十六年十月
第三日版權免許
井冽書屋

卷



子

必

教

歲次甲申

一月之吉

哲



修身格言題言

卷之三

孔子曰。性相近也。習相遠也。人之幼也。智想未定。僂當使誦讀聖賢之格言。以收其放心而養其德性也。然古語奧旨。童蒙未易遽寤。則有扞格不勝之患。故今撫蒐淺近易寤而可爲鑒戒之語。以爲啓迪童蒙之資焉。幼

修身格言
者恆以此編朝誦夕讀玩味其意則
習熟之久德性將若自然也。

明治十六年十月

今井匡之誌



小學
中等科
修身格言

例言

一凡ソ修身學ハ專ラ聖賢ノ遺訓ニ基キ、以テ仁義道德ヲ修ムルニ在リ、乃チ古人ノ格言、名譽ノ行爲等ニ就テ、兒童ノ德性ヲ涵養スルヲ旨トス、
一古人ノ格言ハ須ラク兒童ヲシテ常ニ諳記口誦セシムベシ、然レモ言簡約ナラザレバ能シ難シ、故ニ此編博ク古語ヲ纂メ、以テ口誦ニ便シ、其大意ヲ解セシム、蓋シ旦暮此等ノ語ヲ授テ、以テ其身ヲ修メシメ、忠孝節義ノ心ヲ勵マスベシ、尚之ヲ敷衍シ、古人名譽ノ行爲等ヲ舉ゲ、兒童ノ感懷ヲ奮興セシム

ルノ書世間尠トセズ宜ク良書ニ就テ講授スベシ
一此編言簡約文字艱險或ハ兒童ニ適セザルノ論者
アルベシト雖モ常ニ諳記口誦以テ造次顛沛ノ間
モ守ルニ易カラシメンヲ要ス故ニ敢テ其語ヲ譯
セズ又苟モ近世ノ語ヲ擇バズ古來聖賢ノ格言孔
ダ彰カナル者ヲ哀ム是レ他ノ修身書ト其軌ヲ同
フセザル所以ナリ

輯者識

小學
中等科修身格言目次

- 通教第一
- 學術第二
- 善道第三
- 戒慎第四
- 禮讓第五
- 君臣第六

父子第七
夫婦第八
長幼第九
朋友第十

目次終

小學
中等科修身格言卷之五

學齋 林 昇 校閱
鳳岡 今井匡之纂輯

通教第一

○非其政者不履其地孔子家語

其國ノ政事ヲ誹謗スル者ハ其土地ヘ足ヲ

入ルベガラズ

○先行其言而後從之論語

凡テ何事モロニ云フ一ハ易ク之ヲ行フ一ハ難シ故ニ先ヅ其事ヲサキニ行ヒ云フ一ハ後ニスベシ

○靡不有初鮮克有終詩經
凡テ事ノ初メハ盛シニ見ユレ氏其終ヲ全クセザル者アリ甚恥ヅベキ一ナリ

○身修者官未嘗亂史記

身ヲ慎ミ行ヒ正シキ者ハ其役向キノ事モ能ク整理シテ亂レヌモノナリ

○食其食者死其事說苑

人ニ其身ヲ養ハレ深ク恩義ヲ受ケタル人ノ爲メニハ一命ヲ捨ツルモ惜ム一勿レ

○受其祿者畢其能同

人ノ食祿ヲ食ム者ハ其主人ノ爲メニ己ガ能力ヲ盡クシ忠勤ヲ勵ムベシ

○誣善之人其辭游易經

人ノ善行ヲ惡シサマニ誣ル人ハ其言フ一必ズ浮キテ取トメナキ者ナリ

○失其守者其辭屈同

心ニ誠ヲ守ラヌ者ハ其言フ一必ズ不都合ニシテ行キツマル者ナリ

○言人之惡非所以美己ヲ

人ノ惡事ヤ過チヲ云フテ之ヲ詆ルモ己ガ身ノ美事ニハ少シモナラズシテ反ッテ其身ノ害トナルノミ

○欲訥於言而敏於行論語

凡テ人ハ口ホドニ行ヒノ屈カヌモノユエ口ニテ云フ一ハ不辨ナルガヨク其事務ヲ行フ一ハ敏捷ニ爲スベシ

○力不足者中道而廢同

凡テ勉強力ニ乏キ者ハ何事ヲナスモ遂ゲルコナク半途ニシテ之ヲ廢スル者ナリ

○貨悖而入者亦悖而出大學

道理ニ逆ヒテ取り入レタル財貨ハヤハリ亦逆ヒテ出テ去リ家ニ保ツコナシ

○以人爲鑑可知得失資治通鑑

人ノ善惡邪正ヲ以テ鏡トナシ吾身ヲ照ラシテ其得失ヲ知ルベシ

○日三省吾身論語

人ノ爲メニ忠ナラヌカ朋友ニ信ナラヌカ師匠ニ受ケタコヲ習ハヌカト此ノ三ツノ事ヲ以テ毎日其身ヲカヘリミルベシ

○業精於勤荒於嬉韓昌黎集

凡テ家業ハ勉強スレバマスク其道ニ精シ

クナリ遊怠ナレバイヨク其業ハ粗漏ニナルナリ

○柔其心則聽言敬且信

心ヲ和ラゲテ人ヲ説クトキハ其人敬テ其言ヲ聽キ且ツ之ヲ信用スルモノナリ

○禍莫大於不知足

人ノ禍害ヲ招クハ物ノ十分ヲ知ラズ慾情ニ飽キタラヌヨリ大ナルハナシ

○貧窮則父母不子

人貧窮スレバ父母デサヘ之ヲ賤メテ顧ズ況ヤ他人ヲヤ故二人ハ常ニ儉約シテ困窮ニ陷ラヌヤウ慎ムベシ

○富貴則親戚畏懼

人富貴ナレバ親類デサヘ常ニカハリテ之ヲ畏レ敬フ況ヤ他人ヲヤ故二人ハ常ニ勉強シテ立身ヲ祈ムベシ

○窮當益堅。老當益壯。

後漢書

人困窮シタル時ニハ猶サラ志ヲ堅固ニシテ卑劣ナヲ爲サズ年老テハ猶サラ氣力ヲ勇壯ニ爲スベシ

○鬼神饗德不饗味。

禮記

神ニ祈ルニ盛シニ酒肉ナド供フレ氏神ハ其人ノ善德ヲウケテ味ヒヲウケズ故ニ不正ノ心ヲ以テ祈ル可ラズ

○自驕者必好人諂己。

資治通鑑

自ラ驕リ高ブル者ハ必ズ人ノ己ニ媚ビヘツラフヲ好ム者ナリ

學術第二

○專心篤學。手不釋卷。

世說

學問スルニハ心ヲ專ラニシ篤ク學ンテ手ニ書籍ヲ放サズ勉強スベシ

○仰之彌高。鑽之彌堅。論語

學問ノ道ハ際限アル可ラズ故ニ之ヲ見極メントスレバ其高サヲ知ラズ又之ヲ碎キ解カントスレバ彌堅クテ解キ難キ者ナリ

○多聞闕疑。慎言其餘。同

學問ハ成リタケ博ク其道ヲ聞キ未タ心ニオチ又疑ハシキヲ除キテ其餘ヲ人ニ云フ可シ

○多見闕疑。慎行其餘。同

學問ノ道ハ博ク見テ未ダ心ニオチ又疑ハシキ所ハ之ヲ除キ其餘ヲ實地ニ行フベシ

○學也。祿在其中。同

學問ハ立身ノ基ニテ天下ニ名ヲ揚ケ爵祿ヲ得ルモ皆學問ノ中ニアリト知ルベシ

○學問不倦。所以治己也。說苑

學問ヲ勉強シテ倦ミ怠ラザルハ畢竟己カ身ヲ修ムルガ爲ナリ

○教誨不厭所以治人也。
人ヲ能ク教ヘ諭シテ厭ハザルハ人ヲ治ムルノ道ヲ盡スモノナリ

○幼而學壯而行。
幼少ノ時ニ能ク學問ヲ勉強シ壯年ニ至リテ其學ビシヲ實地ニ行フベシ凡テ學問

三字經

ハ幼年ノウチニアリ

○青出之於藍而青於藍

青色ハ藍ヨリ出デ、藍ヨリモ青シ學問モ荀子
師匠ヨリ教ヘテ受ケテ其師ヨリモ優ル者アリ故ニ勉強スベシ

○讀書但能言之不能行之
近思錄

人多ク書ヲ讀ミ其學ビシヲロニハ能ク
之ヲ云ヘトモ實地ニ之ヲ行フヲ能ハザル
者多シ

○勿謂今日不學而有來リト

日。晦菴文集

學問スル者今日ハ忙ハシキユエ明日學バ
ント欲スル勿レ暇アルヲ以テ書ヲ讀マン
トスレバ書ヲ讀ムノ日ナシ

善道第三

○好行善者天助以福三國志

常ニ善事ヲ好ミ能ク人ヲ善道ヘ導クモノ
ニハ天之ヲ助ケテ幸福ヲ與フル者ナリ

○遷善則其德日新資治通鑑

心ヲ善事ニウツシ日々善行ヲナセバ其人
日々ニ新ラシキ德ヲ身ニ積ムナリ

○ 纖惡必除。善斯成性。

近思錄

凡テ人ハ微少ノ惡ヲモナシト云フ可ラズ
故ニ之ヲ去リ盡クセバ本性ノ善ノミトナ
リ益善徳ニ進ムモノナリ

○ 察惡未盡。雖善必粗。

同。

心ニ惡キヲアルヲ知リテ除キ去ルモ未ダ
悉ク去リツクサレバ善行ヲ爲シテモ粗
略ナリ

○ 無惻隱之心。非人也。

孟子

人ハ性モト善ナル故ニ殘酷ナルヲ見レ
バ必ズ憐レニ傷ムモノナリ若シ此心ナキ
者ハ禽獸ニ等シキナリ

○ 廢一善。則衆善衰。

三略

譬ヘバ一人ノ善行アルヲ賞揚セザレハ他
ノ衆人善ヲ行フノ念ウスシ是レ一善ヲ廢
シテ衆善ノ衰ヘヲ來タスナリ

○作^セ德^レ日^ニ休^シ爲^ス善^ヲ最^モ樂^シ
諸子 彙函

道德ヲ積メハ日々心ノウチ悦バシク善行ヲナスハ此上モナキ樂ミナリ

○善^ハ不^レ可^ニ以^テ僞^ヲ來^ス
說苑

天道ハ善惡ヲ照覽スルユエ詐僞ヲ以テ善事ヲ得ント欲ルモ能ハザルナリ

○惡^ハ不^レ可^ニ以^テ辭^ヲ去^ル
同

惡事ヲナシ辭ヲ以テ遁レント欲スモ天道イカデカ之ヲ宥サン必ズ早晚刑罰ヲ蒙ルモノナリ

○從^フ善^ニ如^ク流^ル施^シ惠^ヲ不^レ倦^マ
史記

人ハ善行德義ニ從フコト水ノ低キニ流ルルガ如クニテ人ニ施シ惠ムコトハ倦ミ怠ルベカラズ

○言^ハ人^ノ之^ノ善^ヲ澤^ラ於^ニ膏^ニ沐^ヲ
說苑

人ノ善行ヲ賞メ揚ゲレバ道德ノ吾身ヲ濕
ス一膏油ヲユアミスルガ如シ

戒慎第四

○強^テ不知^ラ爲^ス知者辱^ハ
近思錄

素ヨリ知^レラヌ一ヲ強^ヒテ知^レリト爲ス者
ハ必ズ恥辱ヲウケル者ナリ慎ムベシ

○前車之覆後車之誡也。
漢書

前^キ車ノ覆^リタルヲ見^テ後^ト車ハ用心ヲ
ナスナリ凡^テ人モ他人ノ過チヲ見^テ己^レヲ
慎ム可シ

○一朝之怒忘^ル其身^ヲ
論語

一旦ノ怒リニ前後ヲ忘^レテ亂暴ナドヲ働
キ遂ニ其身ヲ亡^フノミナラス親族マデモ
迷惑ヲ及ボス一アリ慎ムベシ

○獲罪於天無所禱^ル
同

修身格三 卷之五
惡事ヲナシテ天罰ヲ蒙ルモノハ神ヲ禱リ
テモ其罪ヲ免ルコト能ハズ

○使口如鼻終身勿事孝經注

鼻ハ物ヲ嗅グノミ言フコトナシ口モ鼻ノヤ
ウニ慎ミ安リニ多言セザレバ終身過チナ
カルベシ

○匹夫無罪懷玉其罪左傳

賤キ者ハ素ヨリ惡心ナキ者モ財寶ヲ見テ

俄ニ盜心ヲ發スル事アリ是レ所謂玉ヲ懷
キテ罪ヲ得ル者ナリ

○酒入舌出舌出者言失說苑

人ハ酒ヲ飲ムト言語多クナルモノナリ言
語多クナレバ必ズ過チアリ

○乘車常以顛隊處之三國志

車ニ乗ル片ハ常ニ顛覆シテ墜シルモノト
思フテ心ニ油斷ナケレバ過チ少ナシ

○賤尺璧而重寸陰史記

一尺ノ玉モ寶トシテ惜ムニ足ラズ一寸ノ
光陰ハ惜ムベン玉ハ再ビ得ベシ光陰ハ返
ルコナシ

○涓涓不壅終爲江河孔子家語

水ハ小流レノウチニ塞ガザレバ終ニ大河
トナルナリ凡テ惡事モ微小ノウチニ戒メ
ザレバ終ニ大惡トナルモノナリ

○出乎爾者反乎爾孟子

人ハ自身ノ心次第ニテ善事ヲ行ヘハ吉事
ノ返報アリ惡事ヲ行ヘハ凶事ノ返報アル
モノナリ

○智者之慮慮於未形文選

智者ノ考ヘハ凡テ事ノ發セザル前ニ分別
ヲ爲シオクユエニ何事ニ臨ミテモ困却ス
ルコナシ

○白圭之玷タ尚可磨ホシク 詩經

白キ玉ノ疵ハマダ磨キ直ス一ガデキル可
シト、後ノ句ノ引キゴトナリ

○斯言之玷タ不可爲ム 同

ロニテ一旦言フタノ疵ハ最早トリ返シ
ガデキヌエ慎ム可シ

○南容三復白圭ヲ 論語

南容ト云フ人ハ前ニ記セジ白圭ノ詩ヲ毎
日三遍ツ、讀ミテ其身ヲ慎ムト云ヘリ

○貌言ハナハナ花也。至言ハナハナ實也。 史記

辭ハヲ飾リ諂ヒテ言フ一ハ花ノ如ク美シ
キノミニテ實ナシ至當ノ理ヲ陳ベテ深切
ニ言フ一ハ實ニシテ味ヒアリ

○苦言ハナハナ藥也。甘言ハナハナ病也。 同

苦キ言ハ人ノ嫌フ所ナレ氏反テ戒慎ノ藥

トナリ甘キ言ハ人ノ喜フ所ナレ氏及テ遊
惰ノ病トナルナリ

禮讓第五

○禮義者治人之大法也。

禮義ハ人ノ身ヲ修メ家ヲ齊フ大法ニシテ
一日モ缺ク可ラサル者ナリ

○凡視上於面則教。

禮記

人ヲ視ルニ其人ノ面ヨリ上ヘノ方ヲ見ルハ
心教リ高ブル者ニテ甚ダ無禮ナリ慎ムベ
シ

○一家讓一國興讓。

大學

一家ノ人禮讓ヲ守レバ他人之ヲ見習ヒ一
家ヨリ一郡ニ及ボシ終ニ一國ノ人ヲシテ
禮讓ニ赴カシム

○敬而不中禮謂之野。

孔子家語

人ヲ敬フテモ禮義ニ當ラザレバ但野鄙ニシテ畏ル、ヤウニ見ユルノミ

○終身讓路不枉百步唐書

道ヲ行ク二人ニ行キ會ヒテ傍ラヘ避ケル
氏一生ノアヒタニ百間トモ徒足ハセザル
ベシ

○終身讓畔不失一段同
田畠ヲ耕シテ隣地ノ者ト畔界ヒヲ扣ヘメ

ニ耕ス氏一生ノアヒタニ一反ノ地ヲ失フ
トナカルベシ

○人有禮則安無禮則危禮記

凡テ人ハ禮讓ヲ厚ク人ヲ敬ヘハ人モ亦我
ヲ敬フテ安泰ナリ若シ人ニ無禮ナレバ遂
ニハ爭鬪ナドヲ惹起スベシ

○祭如在祭神如神在論語

神ヲ祭ルハ敬禮ヲ以テ專ラトス故ニ天地

ノ神ハ勿論先祖ノ神靈ヲ祭ルニモ正シク
神ノ生キテ在スガ如ク敬フベシ

○安上治民。莫善於禮。孝經

上ヲ敬ヒ下ヲ治メテ安泰ナラシムルハ禮
義ヨリ善キモノハナシ

君臣第六

○善則稱君。有過則稱己。禮記

善美ノ事ハ之ヲ君ニ讓リ君若シ過チアレ
バ己ガ過チナリト稱スベシ

○忠而能仁。則國德彰。忠經

君ニ仕ヘテ忠心ヲ厚クシ能ク仁義ヲ行ヘ
ハ國家ノ盛德マスキ彰ハル、者ナリ

○求忠臣。必於孝子之門。後漢書

忠義ノ臣ヲ求ムレバ必ズ父母ニ善ク孝行
ヲ盡セシ人ノ家ヨリ出ル者ナリ

○忠臣去國。不潔其名。史記

忠義ノ臣ハ若シ君ノ勩氣ナドニテ國ヲ去ル片ハ假令ヒ君ノ不明ニ出ル氏自ラ其過チヲ聲ラシテ去ルベシ

○忠臣孝子。惶乎不惶。揚子法言

忠義ニ厚キ者ヤ至テ孝行ナル者ハ君父ヲ思フテ片時モ忘ル、コナシ故ニ身モ心モ閑暇ナル時ナシ

○忠興於身。著於家。忠經

君ニ仕ヘテ忠義厚キ者ハ必ズ立身シテ天下ニ名ヲ揚ゲ其家ヲ世上ニ顯ハスモノナリ

○觀其事親。知其事君。說郭

父母ニ事ヘテ孝行ナル者ハ君ニ仕ヘテモ必ズ忠臣ナリ故ニ父母ニ不孝ナル者ハ必ズ君ニ不忠ナル者ト知ルベシ

父子第七

○父子不信則家道不睦カミ

父子ノ間ダ信實ナク睦シカラザレバ一家臣範ノ者皆之ヲ倣フテ家道治ラズ

○謹身節用以養父母孝經

子タル者ハ常ニ身ヲ謹ミ決シテ不善ヲ爲サズ日用ノ物ヲ儉約シテ費エヲ省キ善ク

父母ヲ奉養スベシ

○事親之際惟色爲難晦菴文集

父母ニ事ヘルノアヒダハ顔色ガ最モ大切ナルヲニテ常ニ顔色ヲ和ラゲ悦バシクシテ父母ノ心ヲ安ンズルコト肝要ナリ

○父爲子隱子爲父隱論語

父ハ子ノ惡事ヲ隱シ子ハ父ノ惡事ヲ隱スハ曲レルヲナレトモ親愛ノ情ヨリ出デ、直

キヲ其ウチニアリ

○爲人父者必能教其子

人ノ父トナリテ能ク其道理ヲ知ル者ハ子ヲ養育スルノミナラズ善ク之ヲ教訓スル者ナリ

○爲人子之禮冬溫而夏

清シニ
禮記

子トシテ父母ニ事フルノ禮ハ冬ハ父母ヲシテ溫暖ナラシメ夏ハ清涼ナルヤウニ奉養スベシ

○父雖不父子不可以不

子タラ
孝經序

父ハ慈愛ナクシテ苛酷ナリ凡子ハ父ヲ尊敬シ善ク孝道ヲ盡シ子タルノ務ヲ怠ルベカラズ

○孝_ニ於_二父_一母_ニ。信_{アリ}於_二交_一友_ニ。說苑

父母ニ事ヘテ善ク孝道ヲ盡スモノハ朋友ニ交リテモ信愛厚キモノナリ

夫婦第八

○夫_一婦_一之_レ際_ハ人_一道_一之_レ大_一倫_{ナリ}。

夫婦ノ間ダハ人倫ノ最モ大切ナル者_{史記}工能ク禮義ヲ守リ夫婦ノ別ヲ正シク爲スベ

シ不熟ノ本ハ禮ナキヨリ起ル

○牝_一雞_一之_レ晨_{タル}惟_レ家_一之_レ索_{ナリ}。書經

牝雞ノ時ヲツグルハ家ノ不祥ナリ人ノ妻タルモノ夫ヲ差_シオキ諸事ヲ専ラニスルハ亦家ノ亡フル本ナリ

○婦_一人_一嫁_ス從_ヒ夫_ト。夫_一死_シ從_フ子_ニ。

婦人嫁シテハ何事モ夫ノ命ニ從フベシ_{禮記}夫死シテ後ハ子ノ言ニ從フベシ

○娶婦必須不如吾家者ルハスニカカニ

嫁ヲ娶ルニハ吾家ヨリ劣ル者ヲ娶ルベシ名臣言行錄
嫁タル者己ガ家ヨリ優レル家ニ來レバ能
ク從順ノ道ヲ守ルモノナリ

○縱恣既作則侮夫之心

生る女誠

妻タル者ハ狎レルニ從ヒ我儘ノ行ヒ起ル

此ノ行ヒオコルニ從ヒ遂ニ夫ヲ侮ルノ心
ヲ生ズル者ナリ

○正色端操以事夫主ニ女誠

妻タル者ハ顔色ヲ正シクシ容貌ヲ端莊ニ
シ以テ能ク夫ニ事フベシ

○夫爲夫婦者義以和親ム

夫婦ハ本他人ナリ禮義ヲ以テ合フ故ニ和
親ヲ專ラトセザル片ハ離ル、者ナリ

長幼第九

○相陵者。生於長幼無序。

人ヲ陵キ人ト爭フナドハ長幼ノ順序ヲ紊リ敬愛ヲ失フヨリ起ル者ナリ

○兄弟不信。則其情不親。

兄弟ノ間ダ友愛ノ情薄クシテ親睦セザルハ必ズ信實ヲ專ラトセザルヨリ始マル

○兄弟之際。望深則易怨。

兄ハ弟ノ深ク吾ヲ敬センヲ望ミ弟ハ兄ノ深ク己ヲ愛センヲ望メバ必ズ互ニ怨ミ起リ易シ

○溫柔孝弟。毋驕特力。

凡テ長ハ幼ヲ愛シ幼ハ長ヲ敬ヒ溫厚柔和ニスベシ互ニ己ガ才力ヲ特ミテ高ブルナカレ

○上尊齒。則下益悌。孔子家語

上ニ立ツ者長老ノ者ヲ敬ヒ尊ム片ハ下ニ居ル者孝悌ノ道ヲ守リマスノ兄長ヲ敬フモノナリ

○兄弟叔姪。須分多潤寡。顔氏家訓

兄弟ヤ叔父姪ノ間ダ財多キ者ハ少ナキ者ニ分ケ與ヘ互ニ艱難貧苦ヲ救ヒ合ヒ親愛ヲ失フベカラズ

朋友第十

○上親賢。則下擇友。孔子家語

上ヘ立ツ者賢キ人ト親ミ交ル片ハ下ニ居ル者モ從テ善良ノ朋友ヲ擇ヒテ交ルナリ

○思我良友。如渴如飢。文選

吾ハ良キ朋友ヲ思フコト渴シタル時ニ水ヲ思ヒ飢エタル時ニ食ヲ思フガ如シ

○上交不諂。下交不驕。楊子法言

吾ヨリ高貴ノ人ト交ルニモ必ず諂ヒ媚ビ
ズ吾ヨリ下位ノ者ト交ルニモ必ず驕リ高
ブルヲ勿レ

○君子之交也。淡如水。禮記

君子ノ朋友ト交ルハ貧富ニカ、ワラズ利
慾ニヨラズ故ニ表ベニハ親シク見エザレ
凡心中ニ信義ヲ厚クシテ交ルナリ

○ 小人^{リヤ}之交也。甘^タ若^シ醴^ノ 禮記

小人ノ朋友ト交ルヲ見ルニ互ニ甘言遊樂
ヲ以テシ禮讓ヲ守ラズ表ハ至テ親シク見
ユレモ其實ハ信義ナキモノナリ

○ 與^ニ邪^ハ佞^ニ交^ニ。如^シ雪^ニ入^ル墨^ノ池^ニ

邪智奸佞ナル惡友ト交レハ雪ノ硯ニ入ル
如ク忽チ染リテ邪佞トナルナリ恐レ慎ム
ベシ

○友其人於千載トス
晉書

古へノ賢人君子ノ善行徳義ヲ慕ヒ千載ノ後
マデ其人ヲ親シク友トスルノ思ヒヲナスベシ

○朋友不信則其交易絶トス
臣範

朋友ハ互ニ信實ヲ本トセザレバ友愛ノ情
ウスシ故ニ其交リ絶チヤスシ

○君子者先擇而後交トス
顔氏家訓

君子ハ先ヅ其人ノ善惡ト能不能トヲエラ
ンデ後ニ交リヲ結ブ故ニ交リ深シ

○小人者先交而後擇同

小人ハ先ツ交リヲ結ビテ後ニ始メテ其人
ノ善惡ヤ能不能ヲ知ル故ニ交リ淺シ

○今之交觀勢之厚薄韓昌黎集

今ノ人ハ朋友ト交ルニ權勢アル者ニハ厚
ク貧賤ナル者ニハ薄シ是レ古人ノ甚ダ愧

ツル所ナリ

小學修身格言卷之五終

明治十六年十月三日版權免許
同十年十月十六日刻成出版
同十七年四月十四日訂正御届

定價金三錢

校閱者

群馬縣士族

林昇

群馬縣下前橋驛寄留

纂輯者

神奈川縣平民

今井匡之

神田區美土代町二丁目九番地寄留

出版者

東京府平民

山中孝之助

京橋區銀座二丁目九番地

發賣者

群馬縣平民

竹內輝吉

群馬縣下高崎本町九番地

